

プレスリリース

セーリング競技の男女混合 470 種目 パリ 2024 オリンピックの国別出場枠を獲得

公益財団法人日本セーリング連盟（東京都新宿区、会長：馬場益弘）はオランダ・ハーグで8月20日まで開催された「セーリング世界選手権大会」にて、パリ2024オリンピック・セーリング競技の男女混合470級の出場国枠を獲得しました。

オリンピック出場枠をかけた最初の選考となる今大会では、岡田奎樹／吉岡美帆組が優勝、磯崎哲也／関友里恵組が3位となり、表彰式で日の丸が2つ揚がる快挙を達成しました。この結果、日本は今大会の上位8カ国に割り当てられる男女混合470級の出場枠を獲得しました。セーリング競技の場合、各国に割り当てられる出場枠は各種目・1枠だけです。

男女混合470級の日本代表は、来年5月まで続く選考大会の結果をポイント換算し決まります。

セーリング世界選手権大会では、オリンピック全10種目で国枠選考が行われましたが、残念ながら今回、日本はそのほかの種目で国枠を獲得することができませんでした。国枠選考大会は次のステージに移ります。日本は今後、9月開催のアジア大会、12月開催のアジア大陸枠選手権、来年開催される各クラス別の世界大会などで残り9種目の国枠獲得を目指します。

オリンピック・セーリング競技：

- ①男女混合470級 ②男子49er級 ③女子49erFX級 ④男子ILCA7級 ⑤女子ILCA6級
⑥男女混合Nacra17級 ⑦⑧男・女iQFOiL級 ⑨⑩男・女Formula Kite級

以上

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日本セーリング連盟広報委員会 西朝子
Email: kohou@jsaf.or.jp sailingnishi@gmail.com

JSAF 公式サイト <https://www.jsaf.or.jp/>
オリンピック強化委員会サイト <http://jsaf-osc.jp/>